

平成30年度第1回四條畷市総合戦略協議会会議録

日 時	平成30年4月27日（金）10:00～11:10
場 所	市役所本館 3階 委員会室
出席者	石関委員(会長)、高見委員(副会長)、河野委員、小西委員、中川委員、中野委員、吉田委員
欠席者	開原委員、清川委員
事務局	藤岡総合政策部長兼調整監、西垣内マーケティング監兼魅力創造室長、中西魅力創造室課長兼主任、川崎魅力創造室主査
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 議題            次第1 総合戦略の進捗管理について            次第2 四條畷市総合戦略【改訂】(素案)について</p> <p>3 閉会</p>
配布資料	<p>① 次第</p> <p>② 座席表</p> <p>③ 委員名簿</p> <p>④ 資料1 総合戦略の進捗管理</p> <p>⑤ 資料2 四條畷市総合戦略【改訂】(素案)</p> <p>⑥ 資料3 小西委員からのご意見</p> <p>⑦ 資料4 総合戦略改訂スケジュール</p> <p>⑧ 追加資料 資料1 差替え 総合戦略の進捗管理</p>

(文中敬称略)

事務局	<p><b>1 開 会</b></p> <p>それでは、定刻となりましたので始めさせていただきたいと思 います。皆様方には、お忙しいところお集まりいただき、誠にあ りがとうございます。</p> <p>本日の出席委員は7人、欠席委員2人でございます。四條畷市 総合戦略協議会規則第3条第2項の規定に基づき、委員の過半数 にご出席をいただいておりますので、会議が成立することをご報 告いたします。</p>
石関会長	<p>それでは、ただいまから平成30年度第1回四條畷市総合戦略 協議会を開会します。</p> <p>事務局、本日の資料の確認をお願いします。</p>
事務局	<p>本日の資料につきましては、事前に送付しております、資料1 総合戦略の進捗管理、資料2 四條畷市総合戦略【改訂】(素案)、 本日机上にお配りしております、次第、座席表、委員名簿、資料 1 差替え 総合戦略の進捗管理、資料3 小西委員からのご意 見、資料4 総合戦略改訂スケジュールです。</p> <p>資料が揃っていない方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>それでは、以降の進行を会長にお願いしたいと思 います。</p> <p>会長、よろしくお願 いいたします。</p>
石関会長	<p><b>2 議 事</b></p> <p>それでは、次第に沿って会議を進めます。まず、次第1 総合 戦略の進捗管理についてです。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事前にお配りしておりました、資料1 総合戦略の進捗管理の 数値に若干の修正がありましたので、本日机上にお配りしてあり ます、資料1 差替え 総合戦略の進捗管理 をご覧ください。時 間が限られておりますので、全体の中から、K P I が基準値に比 べ実績が比較的良かったもの、悪かったものを中心に上げさせ ていただきます。</p> <p>まず、良かったものとしては、基本目標「子どもたちのすこや かな育ちを応援」のなかで「子どもの健康を支える取組みの充実」 として、「子育てぽけっと利用件数」、「すこやか子育てチャレン</p>

	<p>ジ参加者数」が、目標値を大きく上回る結果となっております。</p> <p>子育てぽけっととは、質の高いおもちゃを親子に貸し出しする事業です。平成28年度実績に比べ利用件数は減少したものの、引き続き目標値以上の利用実績を維持しております。</p> <p>すこやか子育てチャレンジは、健康づくりの取り組みや検診の参加に対しポイントを付与し、獲得数に応じて記念品と交換する事業です。保育所などの関係機関の協力を得た啓発や、記念品の見直しなどにより参加者数が大幅に増加しています。</p> <p>また、「保育施設の整備促進及び幼児教育施設の環境充実」では、待機児童数について、公立保育所の民営化に伴う定員増、小規模保育事業の認可、保育所・幼稚園の認定こども園移行により、保育定数の増加を図ったことで、前年度に引き続き待機児童が減少しました。</p> <p>一方で、基本目標「魅力と活力にあふれるまちづくり」のKPIは、地域経済を支える産業の活性化の部分では、共通商品券の割引率低下により販売額が減少しているなど、厳しい結果となっております。昨年度に改訂された産業振興ビジョンに基づく取り組みのなか、積極的に活性化を図りたいと考えております。</p> <p>また、コミュニティバスの実績値についても悪化しており、通勤・通学者の減少を反映した結果となっております。こちらにつきましては、昨年度に設置された地域公共交通会議において、市民アンケートやコミュニティバス利用者調査の結果に基づき、地域公共交通計画（素案）が取りまとめられたところであり、今後、計画（素案）に基づく実証運行が予定されています。</p> <p>説明は、以上でございます。</p>
石関会長	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。いかがでしょうか。</p> <p>(質疑なし)</p>
石関会長	<p>ないようですので、次第2 四條畷市総合戦略【改訂】(素案)について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>総合戦略【改訂】(素案)については、前回協議会でも説明させていただきましたが、その後、庁内での検討のなか、内容に変</p>

更が生じておりますので、改めてご説明申し上げます。

先ず、1ページ、I、総合戦略改訂の経緯と基本的な考え方についてでございます。1、総合戦略改訂の経緯は、これまでの地方創生に関する主な取組みと改訂の趣旨について記載しております。改訂の趣旨といたしましては、本市の人口減少が人口ビジョンに掲げた将来展望を上回る減少傾向を示していることから、子育て支援プロジェクトチームでの検討、産業振興ビジョンの改訂と整合を図り、また、シティプロモーションにより、目標とする人口動態に向け、より効果的な事業の展開及びK P I の設定を行うため、総合戦略を改訂するとしております。

2ページをご覧ください。

2、総合戦略の計画期間につきましては、従前の改訂方針では、総合計画の基本計画第1フェーズと整合を図るため、平成37年度を目標年次としておりましたが、改訂にあたって掲げた3つの考え方のうち、子ども・子育て支援と産業振興に係る取組みを具現化した、子ども・子育て支援アクションプラン及び産業振興ビジョンと整合を図ることとしましたので、平成34年度を目標年次としております。また、国の戦略と整合を図るため、平成31年度を中間評価年として位置付けます。

3、戦略の位置付けは、最上位に据え置く第6次四條畷市総合計画の基本計画に位置付け、四條畷市人口ビジョンの展望に向け、子ども・子育て支援アクションプラン、教育振興ビジョン、産業振興ビジョン、シティプロモーションに関する指針との整合、連動を図るフレームを示しております。

3ページには、参考としまして、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方を提示しており、国の戦略と整合を図ってまいります。

4ページをご覧ください。

II、本市が抱える課題についてでございます。

1、市民意識から抽出される課題につきましては、(1)定住意向では、60歳代以上では7割以上が「住み続けたい」と回答いただいておりますが、20歳代から50歳代までは5～6割弱の定住意向となっており、若年層に対して住み続けたいと思ってもらえる施策の実施が求められています。

(2) 人口減少への認識では、「人口減少は望ましくないので、増加するよう努力すべき」が、34.7%で最も多く、人口減少を克服する施策の検討が必要と言えます。

5ページをご覧ください。

(3) 施策の重要度と現状の満足度では、重要度の評価が高く、現状の満足度の評価が低い施策のなかで、特に地方創生と密接な関係があるものとして、「産業振興」、「労働」、「児童福祉」、「学校教育」があげられており、産業振興、雇用の創出や子育て支援の更なる充実が急務と言えます。

6ページをご覧ください。

2、人口から抽出される課題につきましては、(1) 人口動態は、平成22年をピークに減少傾向に転じており、人口ビジョンでは、人口減少克服の取組み等で、もたらされる効果により、社会動態の均衡、合計特殊出生率の向上をめざすことで、平成62年に51,005人をめざすとしておりますが、平成27年時点で、すでに約1,600人の減少となっております。

7ページをご覧ください。

(2) 社会動態は、転出超過が続いている状況です。平成29年の人口移動報告では、転入が1,799人、転出が1,921人で、社会動態はマイナス122人となっております。

次に、(3) 合計特殊出生率は、緩やかに数値が下がり続けており、平成28年は1.30となっております。

8ページをご覧ください。

(4) 生産年齢人口は、減少傾向にあります。また、平成22年に老年人口と年少人口が逆転し、今後も老年人口が増加を続ける見込みとなっております。

9ページをご覧ください。

Ⅲ、めざすべきまちの未来像を実現する戦略の体系についてでございます。

1、人口ビジョンに掲げる将来展望につきましては、短期目標、中期目標、長期目標として掲げる将来人口の展望をお示ししています。2、総合戦略で掲げる重要目標達成指標(KGI)につきましては、市民意識及び人口から抽出された課題をふまえたうえ

で、人口ビジョンに掲げる将来展望に基づき、分かりやすく達成度を評価できるよう、本市独自の指標として、KGIを設定しました。KGIは、マーケティングで用いられる指標のひとつでございまして、最終的なゴールとなる目標を定量的に示すものです。総合戦略では、平成34年を到達点とした具体的な数値目標として、社会動態が0人以上、合計特殊出生率が1.66程度、生産年齢人口が33,915人、人口あたり59.5%を目標としております。

10ページをご覧ください。

3、めざすべきまちの未来像につきましては、KGIを達成すべく、住みたい、住み続けたいと思ってもらえるまちづくりの推進を基本に、新たなまちの魅力と価値の創造を図ることをコンセプトに置き、本市に暮らす全ての人が未来に希望を持ち、四條畷を誇りに思ってもらえるよう、「子の笑顔 活気あふれる なわてみち」としました。

11ページをご覧ください。

4、総合戦略の全体像をお示ししています。先ほど、ご説明申し上げました、人口ビジョンの将来展望、KGI、めざすべきまちの未来像のほか、3つの基本目標、そこに向かうための4つの政策、進捗を確認するための重要業績評価指標(KPI)、そこに結びつく施策と事業を記載しております。

なお、基本目標以下につきましては、次のIVのなかで説明させていただきます。

12ページをご覧ください。

IV、政策の概要、施策、事業及びKPIについてでございます。

基本目標1として、「親子がいきいき暮らせるまち」を掲げ、安心して子育てのできる環境づくりや質の高い教育環境の整備を進めてまいります。そのなか、政策1「子育て家庭の支援」では、多様な保育ニーズに対し、きめ細やかで柔軟な保育サービスのより一層の充実や、子育ての不安、課題の解決による育児負担の軽減を図ります。

また、目標を達成するためにプロセスの進捗の達成度を示すKPIとしては、「この地域で今後も子育てしていきたい」と答えた割合、保育所等利用待機児童数、ふれあい教室の待機児童数の

3つを設定し、進捗管理を行っていきます。

K P I と結びつく施策としては、待機児童の解消、保育サービスの充実、親子へのサポート体制拡充を掲げ、6つの事業を示しております。

なお、施策における「待機児童の解消」については、事業を「保育所等の待機児童解消」、「ふれあい教室の待機児童解消」としていることから、議会の特別委員会でのご議論も踏まえ、施策を「保育環境の充実」に修正させていただければと思っております。この点につきましては、ご意見をいただきましたらと思っております。

ここで、1点訂正がございます。K P I の上から2つめ、「保育所等利用待機児童数」につきまして、平成29年度の基準値が17人となっておりますが、正しくは11人で行ってまいりました。お詫びして訂正いたします。

13ページをご覧ください。

基本目標1のなか、政策2「質の高い教育の推進」では、教育環境づくりに努めるとともに、「生きる力」を育む教育活動を展開します。

K P I は、話し合う活動を通じて、考えを深めたり、広げたりすることができるかと答えた児童・生徒の割合、学校の授業時間以外に1日あたりの学習時間が30分未満と答えた児童・生徒の割合、中学3年生における英検3級以上を取得している生徒の割合を設定しました。

K P I と結びつく施策としては、学力向上に向けた活動の実施、英語教育の推進を掲げ、4つの事業をお示ししております。

14ページをご覧ください。

基本目標2として、『働きたい』を応援するまち」を掲げ、地域産業の活発な活動を生み出すとしています。政策3「地域経済の好循環の創出」では、地域を取り巻く状況を踏まえ、創業や事業者の経営改善の支援体制を充実します。

K P I は、創業支援に基づく新規起業数、事業者向けセミナー開催回数、商店街空き店舗活用件数を設定しました。

K P I と結びつく施策としましては、次世代を担う人材の発掘・育成、事業者への支援、産業資源の活用を掲げ、3つの事業をお示ししています。

	<p>15ページをご覧ください。</p> <p>基本目標3として、「もっと知りたい、ずっと住みたいまち」を掲げ、効果的、戦略的な方法を用いて四條畷をアピールします。</p> <p>政策4「四條畷の魅力を内外へ発信」では、特に若い世代に訴求するよう、まちのイメージアップ、認知度の向上を図るとしてまいります。</p> <p>KPIは、シティプロモーションサイトへのアクセス数、サテライトイベント参加者数、協働事業者数を設定しました。</p> <p>ここで、「協働事業者数」については、施策として「多様な主体との連携」、事業として、「市民、企業、大学等との連携事業の発信」を掲げており、連携事業を推進していくため、「連携事業数」に修正させていただければと考えております。「連携事業数」につきましては、平成29年度の実績値は調査中であり、目標値については、実績値を踏まえ、設定させていただきたいと思っております。こちらにつきましても、ご意見をいただきましたらと思っております。</p> <p>KPIと結びつく施策としては、情報の拡散戦略、施策とシティプロモーションの連動、多様な主体との連携を掲げ、4つの事業をお示ししています。</p> <p>16ページをご覧ください。</p> <p>V、戦略の推進に向けてです。1、進捗管理につきましては、分野横断的に組織する総合戦略等庁内検討会及び産業、学識、金融、労働及び市民の代表者で構成する総合戦略協議会で行うとともに、議会との情報交換を適宜実施してまいります。2、計画の見直しにつきましては、指標と実績が大きく異なる場合や社会情勢の著しい変化等、必要に応じ、適宜行います。</p> <p>総合戦略【改訂】(素案)の説明は以上でございます。</p>
石関会長	<p>はい、ありがとうございました。ただいま、事務局から説明がありました。今回、総合戦略【改訂】(素案)について事前に委員の皆様からご意見を伺ったところ、小西委員からご意見をいただきましたので、よろしければ、小西委員から簡単にご説明をお願いします。</p>
小西委員	<p>まず、社会動態について、昨年度122人転出超過というのは資料を見たらわかるのですが、どういう世代が減っているのです</p>

	<p>ようか。特に四條畷市は、子どもの教育・子育て環境の充実に力を入れていますが、そういった世代の転出数はわかるのでしょうか。最近では転入転出の届出の待ち時間にアンケートを取られているところが多いですが、こういうアンケートはとられているのでしょうか。そのなかに市の魅力向上のヒントがあると思うのですが、どうでしょうか。</p>
石関会長	<p>ありがとうございます。事務局から回答をお願いします。</p>
事務局	<p>転出のアンケートにつきましては、平成29年10月16日から市民課及び田原支所にてアンケートを行っております。同日から平成30年3月31日までの集計データによりますと、主な転出理由といたしまして「就職・転職・転業」や「転勤」といった就業に関する点、「結婚」の2点でございます。合計すると56.3%という数値になっております。今後につきましてもアンケートの方は継続して実施していき、その中で分析も進めていきたいと考えております。</p>
事務局	<p>補足させていただいてよろしいでしょうか。マーケティング監の西垣内です。今年2月7日に開催されました平成29年度第2回四條畷市総合戦略協議会におきまして、私の方から冒頭で現在お答えした点について説明させていただいております。事前に各委員あて送付しております、前回の協議会の会議録の3ページからになります。総務省から出されております、人口移動報告からみられる5歳階級の他市町村からの転入者数というところで、さきほどの小西委員からのご質問についてご説明させていただいております。5歳刻みの転入者数や転出者数の分析や先ほど事務局から説明したアンケートの内容も確認できますので、そちらをご覧くださいいただけたらと存じます。</p>
石関会長	<p>ありがとうございます。小西委員いかがでしょうか。</p>
小西委員	<p>ありがとうございます。若い人の結婚、就職、転勤により転出超過になるのはどこの市もそういう傾向にありますので、ある程度いたしかたないと感じます。一番問題なのは、就学前後の子どもがいる子育て世帯が転出することだと思います。また、結婚、就職等で一度は出ていった若い世代が、子育てを機に親元のこの</p>

<p>石関会長</p>	<p>まちに戻ってきてくれたら今の施策ともマッチすると思います。</p> <p>ありがとうございます。今の件について、ほかにご質問、ご意見等ありませんか。</p>
<p>事務局</p>	<p>先ほどの件について、具体的にご説明させていただきます。小西委員ご指摘のとおり、本市の2016年から2017年にかけての社会動態はマイナス122人、特に20代ではマイナス86人となっており、他の年齢カテゴリーと比べて減少幅が大きくなっております。ただし、他の年齢カテゴリーではプラスの面もございます。0歳から9歳のカテゴリーではプラス69人、30歳から39歳のカテゴリーではプラス33人となっており、子育て世帯は増加してきているのではないかと分析しております。</p> <p>また、転入者アンケートの内容を併せて見ますと、住宅購入という理由で本市に来られる方が一定数おりますので、ライフステージが変わるタイミングであったり、住宅購入というタイミングであったりで本市を選んでいただいているという評価もできると考えております。その反面、小西委員からご指摘があったとおり、結婚、転勤といった他のライフステージの変化の場面では住み続けていただけていないという現状がありますので、今後も複合的に分析して施策に反映させたいと考えております。</p>
<p>石関会長</p>	<p>ありがとうございます。続いて、小西委員、次の質問をお願いします。</p>
<p>小西委員</p>	<p>合計特殊出生率の設定についてです。日本全体で言えることだと思いますが、合計特殊出生率をあげるのは難しいのではないかと考えています。地方だけでできるレベルではなく、都道府県レベル、国レベルの施策になってくるのではないのでしょうか。単純に目標数値を設定するだけでは意味がないと感じています。</p> <p>四條畷のイメージは住環境が優れていることだと思います。自然も緑も多く、地域遺産もあり、住む、子育てをするには最適な場所ではないのでしょうか。そのようななか、若い子育て世帯に入ってきていただいて、ここでなら安心して子育てができると感じていただき、結果として子どもの人数が増えるというのがベターではないかと思います。今の施策とリンクしているとは思いますが、若い子育て世帯がどこに住むかを検討するときに呼び込ん</p>

	<p>でこないといけないと思います。地方創生では、どの地域を選んでもらえるかというのが大切であり、子育て環境に力を入れているのはわかりますが、それだけでこの目標が達成できるのでしょうか。</p>
石関会長	<p>ありがとうございます。事務局、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。施策につきましては、子育て支援プロジェクトチームでの検討、産業振興ビジョンの改訂、シティプロモーションの観点から掲げており、各事業の展開及びKPIの達成により、目標達成をめざしたいと考えております。</p> <p>おっしゃっていただきましたように、自然の豊かさ、住環境のよさ、歴史や文化遺産が豊富であるといった点については、シティプロモーションで積極的に発信しまして、子育て世帯を呼び込めるよう努めていきたいと考えております。</p>
事務局	<p>補足いたします。総合戦略【改訂】(素案)の15ページをご覧ください。具体的な施策として、シティプロモーションの特設ホームページの作成が今年度の事業で位置づけられております。市外の人に対して戦略的にプロモーションを行い、本市を知っていただく、本市を検索していただく、そして本市に関心をもっていただく、という形で段階的にプロモーションを行っていくことを考えております。</p> <p>さらに、多様な主体との連携では、公民連携指針を策定し、公民連携を推し進め、具体的にアクションをおこしていくという姿勢をさらに強めていくことを考えております。加えて、シティプロモーション指針も策定予定ですので、これらをもって複合的に施策を進めていく考えでございます。</p>
石関会長	<p>ありがとうございます。では、小西委員、次の質問についてお願いします。</p>
小西委員	<p>創業支援の関係についてです。</p> <p>中川局長においでいただいておりますが、3、4年前に制定された産業競争力強化法に基づく創業支援で、金融機関、市、商工会、日本政策金融公庫の四者で創業支援スキームを構築しました。四條畷市は約1年遅れたが、そのスキームで国に申請し、創</p>

	<p>業支援をさせていただいております。私どもの方では、北河内7市全市と同じ創業支援スキームを組んでおりますけれども、そのなかでは四條畷市は、正直なところ、積極的ではないように感じます。創業支援セミナーをすでに年に3回ほど行っている市もごございます。今回の素案のなかで数値を示されているので、今後積極的に行っていくことだと思われませんが、それらを積極的に活用し、四條畷市でこの地域の課題に向けた創業者の発掘をしていきたいとわれわれは考えています。</p> <p>今の創業者というのは、大きな設備を持ったりたくさんの資金を投入したりするというよりも、女性の方中心で、ちょっとしたアイデアや手の届かなかったところ、いわゆるスモールビジネスから事業を展開している方が非常に増えてきています。、ぜひそのような方に対しても一緒に取り組み、推進していきたいと考えています。</p> <p>参考ですが、守口市で設置されているテレワークオフィス、枚方市にごございますコワーキングスペースというものがあります。</p> <p>四條畷市では子育て世帯を呼び込もうとしている点から、この地域にもニーズがあろうかと思うので、参考にしていただけたらと存じ上げます。</p>
石関会長	<p>ありがとうございます。事務局、お願いします。</p>
事務局	<p>創業支援につきましては、創業セミナー等にご協力いただきありがとうございます。創業者の発掘は重要と認識しており、今年度、新たな取り組みとして、地域や社会が抱える様々な課題の解決を、ビジネスを通じて自立的に運営、維持できるよう地域事業者の育成事業を実施したいと考えておりますので、またご協力をお願いできればと思います。なお、テレワークオフィスについては、費用対効果や年間ランニングコストの課題もあるかと思われまますので、慎重な検討が必要と思っております。女性の創業支援については、本市でも推し進めたいと考えております。その点については、継続して行っていきたいと考えております。</p> <p>また、創業支援に関し、前回の協議会において、創業支援スキームについてご意見いただき、担当する産業振興課においても、今後、情報共有の充実を図ってまいりたいと考えておりますので、この場をお借りしてご報告申し上げます。</p>

<p>中川委員</p>	<p>商工会の中川です。小西部長がいらっしゃる枚方信用金庫様とは2年前から市役所からの委託事業として100万円以内で創業塾を開催させていただいております。枚方信用金庫忍ヶ丘支店の方と日本政策金融公庫の方に来ていただいて、融資制度の説明などもさせていただいております。現在2年目になりまして、平成29年度の実績ですが、申込みは二桁あったんですが、実際に来られたのは6人でした。敷居を下げて創業カフェという形で、サンプルで行いました。創業塾を商工会でやらせていただいて、1日4時間、3日間で35人、のべ41人の参加がありました。融資の実行までいったのは2人いました。商工会の紹介状をつけさせていただいて、日本政策金融公庫から2人で合計930万円の融資が実行されました。建築業とドッグスクールとまったく別の業種ですが、2年間やってみて感じたのは、創業塾にきてすぐに開業という人は少ないということです。4年後になったり5年後になったり10年後になったり、即効性というのはあまりありません。</p> <p>それとは別に、私どもは日本政策金融公庫様と帯同できるので一緒に行かせてもらっているのですが、枚方信用金庫様の方に直接融資の申込みをされている方もいると思います。今後も産業振興課と協力してやっていきたいと思っています。平成30年度の計画の中で、女性のための小さくはじめる創業セミナーというのを考えています。創業塾というと敷居が高く感じるので、まず敷居を下げて、カフェでやるディスカッションという形で、夢をどう構築するか、診断士の先生と一緒にやろうと考えています。女性の方に特化して一度やってみますので、またご協力をよろしくお願いします。</p>
<p>石関会長</p>	<p>ありがとうございます。ほかにどなたかご意見ございますでしょうか。</p> <p>それでは小西委員、最後の質問をお願いします。</p>
<p>小西委員</p>	<p>シティプロモーションの関係です。他の市町村でもかなり力を入れてやっておられます。ある市では、中高生と30歳までの社会人で構成される若者会議というものから意見を吸い上げているそうです。そういった若い方の視点での意見を取り入れてシティプロモーションを考えていったらいいのではないかと思いますので、ご提案させていただきます。</p>

石関会長	ありがとうございます。それでは事務局お願いします。
事務局	ご提案ありがとうございます。これに関して少しご質問をさせていただいてもよろしいでしょうか。小西委員はどのような意見を聴取したらよいと考えているか、お聞かせ願えますでしょうか。
小西委員	住んでてよかった、何がよくないか、思いついたことをいくつかのテーブルに分けて話し合いをしながら課題の吸い上げであったり、自分たちが住んでいるこの地域を誇りに思えるようなことは何かなど、堅苦しい形ではなく、ざっくばらんな、率直な意見を吸い上げるような形で取り入れていけたらいいのではないのでしょうか。そうすれば、若い世代の意見を反映できるのではないかと思います。
石関会長	事務局、どうぞ。
事務局	<p>非常に具体的な示唆に富むご意見ありがとうございます。</p> <p>現状、シティプロモーションに関する考え方について指針を構築しております。マーケティングの考え方で、マーケットイン、つまり、市場を規定してそこに対して適応していくという考え方と、プロダクトアウトという、逆に四條畷としてどういう打ちだし方ができるのかという、自分たちが主体性をもって、そこにマッチするターゲットなりマーケットなりを規定していくという考え方の二面あるかと思います。</p> <p>どちらかといえば現状は後者のプロダクトアウトという発想で構築しております。つまり、四條畷市というところはどこが強みなのか、どういう人が住んでくれるのか、というのを考えて、その発想に合うターゲットに発信をしていく。そういうところでいうと、小西委員の意見と非常にマッチすると思っております。市として積み重ねてきた施策であったり、歴史上積み上げてきた資源であったりというものを強みにしてシティプロモーションを考えていこうと思っております。</p>
石関会長	ありがとうございます。ほかにこの件に関してご意見等ございますか。

事務局	<p>この件に関して、私の方からよろしいでしょうか。</p> <p>シティプロモーションについてですが、まず四條畷市という名前をどれだけ関西エリアの人が知っているか、ということが私は重要だと思っています。私の所属する大学の学生も、大学に入るまで四條畷というところがあることを知らなかったという者は多いです。まず第一はそこかと思います。そこから次のプロモーションが始まると思いますが、その辺はいかがでしょうか。</p> <p>おっしゃるとおりだと考えております。ブランド総合研究所というところが出しております、地域ブランド調査というものがございまして、第三者指標の一つとして、いろいろな判断や分析のよすがとして活用しているのですが、いろんな尺度で四條畷市の数値がとられております。そのなかでは魅力度が最上位にきておまして、認知度、情報接触度、観光意欲度や居留意欲度といったものが列挙されているんですけども、なかでも重要なのは認知度だと考えております。調査対象が全国で1,000市区町村ございまして、全国の市区町村を網羅しているわけではないのですが、四條畷市は大阪府内における認知度では調査対象の33市区町村中26位となっております。大阪府内の市のなかでも低い順位となっております。</p> <p>こういった点からも、まずは四條畷を知ってもらおうというところからだと考えております。四條畷市民の方からすると当たり前のことかもしれませんが、ご指摘のとおり、市外の方から見ると、やはり四條畷という漢字も難しく感じるでしょうし、四條畷と聞いても漢字が思いつかないということはあろうかと思えます。そういったところからも、市外に対しては丁寧なプロモーションを心掛けたいと感じております。</p>
石関会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>きっかけといったところでは、さきほど話のあった若い層に大切なアプローチ方法が何かというと、さまざまな視点があろうかと思いますが、やはりビジュアルだと思います。漢字も大事だと思いますが、漢字のところをどうやってビジュアルでうまく引っ張ってくるかというところをよく考えた方がいいのかなと私は思いました。</p>
石関会長	<p>どなたかほかにはいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょ</p>

	<p>うか。</p> <p>せっかくですので、ご発言いただいていない委員の方から一言ずついただいてよろしいでしょうか。</p> <p>それでは吉田委員からお願いします。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>四條畷青年会議所の吉田でございます。</p> <p>年始からの途中参加ということで今まで決められたことにご意見申し上げにくいところもあったんですけども、さきほどのご意見の中でも四條畷の認知度の低さに課題があるのではないかとということで、大阪府内でも33市区町村中26位とかなり低いと感じております。われわれの活動のなかでも四條畷という地域をどうにか発展させていこうと活動しているんですが、われわれの力もまだまだたりていないなど、こういう形で会議に参加させていただいて勉強させていただきました。</p> <p>少し戻るんですけども、さきほど商工会で開催した、喫茶店でされていた創業セミナーでは3日間でのべ41名の方がこられたということですが、年齢層は若い方が多かったのでしょうか。</p>
<p>中川委員</p>	<p>30代、40代の方、あとは主婦の方、60代の方もいらっしゃいました。バラバラといえばバラバラですね。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>採用された建築業とドッグスクールの方なんですけれども、このお二方の年齢はどれくらいだったのでしょうか。</p>
<p>中川委員</p>	<p>35歳前後ですね。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>ありがとうございます。われわれの団体が40歳までの方に向けたものなので、できれば20代、30代の方に元気になってもらって地域を盛り上げていきたいと考えていますので、できればこういう情報をもらえたらと思います。なかなか自分たちでどうしていったらいいのか、若い人のなかではわからない人も多いと思います。まだまだ自分たちで勉強しないといけないのですが、実際仕事等で独立したばかりの人は、他のことになかなか頭がいきにくいと思います。たとえば、建築業でしたら現場に出て頑張っている世代なので、なかなかこういったことで外に出向いて勉強しに行く機会よりも、そもそもそういう情報を得にくい人が私</p>

	<p>の周りなんかでも多いです。そういったことを僕らが発信していきたいなと思っていますので、またこういった形で商工会様にもいろいろしていただけたらと思います。私たちも必ず行かせるようにしますので、またよろしくをお願いします。</p>
石関会長	<p>ありがとうございます。続いて、中野委員をお願いします。</p>
中野委員	<p>中野です。シティプロモーションでのイメージ作りで、さかて作戦というんですかね。枚方市がマイカタ市と読まれるということでマイカタで売り出す。そういう方法もあるんだと思いました。住道がジュウドウであったり放出がハウシュツであったり。四條畷はそれもないんですけれども、ただ、売り出す方というのはどうしても中から見た感覚で売り出そうとするんですね。どう見られているか、ということで売り出すのではなくて、自分たちが住んでるまちの自分たちのイメージ、その中からどこを拾い出したら売り出せるんだろうか、という発想にどうしてもなってしまう。</p> <p>そうではなくて、一度、基本的に認知度が低いそのなかで、どういう認知をされているのかということを一度マーケティングしていただく、世間から見た四條畷のイメージが必要ではないかと思います。商売でもそうですけれども、売る側のイメージで売ろうとするとなかなか世間にヒットしない。だけどいま、爆発的にヒットしているものは逆に買う方が作ったイメージが拡散して行って、爆発的に売れるということが割合多い気がします。そういう方法も1つではないかと思います。</p>
石関会長	<p>ありがとうございます。それでは河野委員をお願いします。</p>
河野委員	<p>まず市のイメージのことですが、四條畷のイメージは、大東とか東大阪もそうですけれども、ごちゃごちゃとなってるイメージでした。昔は田原の方の住環境のイメージがまったくありませんでした。たまたま知り合いが畷高の方の出身だったので田原地区のことを知っていましたが、田原地区がまだ開発されていなかったころに自分が車で通った時のイメージは、こんなところに誰が住むんだろうという感じでした。白庭台の方もそうですけれども。四條畷をあまり知らない方からすればそのイメージのままではないですかね。</p>

	<p>ぜひともアピールするのは北河内7市のなかだけでなく、より広い範囲で行っていただけたらと思います。隣の生駒市は非常に認知度も高いですし、近くに奈良市もあります。以前も申し上げたと思いますが、県の隔てだけではなく、周囲との関連を考えていただけたらと思います。交通についても同じです。バスについては、コミュニティバスはやはり大阪府内だけではなく、もう少し踏み出せたらと思います。少し踏み出した学研北生駒の駅は奈良ともつながっています。総合的な戦略で、県をまたぐと非常に難しいかと思いますが、北河内だけ、大阪府内だけではなくて、他との関連をもっと考えていただけたらと思います。田原からすこし行くともう奈良なんですよね。近隣地域との連動した施策や連携があればもっとよりよい関係を結べるかと思っています。そういう風な考え方をしていただきたいと思っています。</p> <p>どこかで四條畷に学研をつけるべきだと思います。それによって認知度も自然と上がると思います。リニアの計画であったり、松井山手の北陸の新幹線の話であったり、もっと先の戦略で、ノーマライゼーションとか交通のことを考えるとかわってくると思いますので、そういった先の大局的な視点で考えていったらいいのではないかと思います。</p>
石関会長	ありがとうございます。
事務局	よろしいでしょうか。
石関会長	はい、どうぞ。
事務局	<p>河野委員からありましたお話について、田原地区の活性化については田原活性化本部があります。市政運営方針を見ていただくと、今年度の力を入れる施策の一つになっていることがわかるかと思っています。生駒市との広域連携というのは一つあるとして、シティプロモーションのなかでも東西、四條畷をどうやってオール四條畷という形で発信するのかというのは不可欠だととらえております。宣伝になってしまうのですが、インターン生を中心に動画発信に力を入れておまして、インターネットの生放送を月に一回行っております。番組名は「なわチャン!」というのですが、3月にグリーンホール田原で田原スペシャルということで、四條畷の東部にある住宅街、住みよいまちの発信を</p>

	<p>行ったところ、「フレッシュ」という動画配信のプラットフォームで9万回以上再生されました。いろいろな発信方法の一つではないですけれども、そうした模索の中で田原だけでなく、四條畷の東部、西部をあわせもって発信していくつもりです。ご協力いただけたらと思いますのでよろしくお願いします。</p>
石関会長	<p>ありがとうございます。では次どうぞ。</p>
高見副会長	<p>商工会の高見です。  総合戦略協議会にかなり出席させていただいておりますが、毎回思うことですけれども、協議会でお話していることを実現するには相当な努力が必要になってくるのかなと感じています。日本の社会全体が少子高齢化に向かっている。四條畷だけがそれに反して人口が増えていくのは難しいと思います。委員を増やしてみてもはどうでしょうか。いろんな意見をもっておられる方もいるだろうと思いますので。商工会の方ではさきほど中川局長から創業セミナーというところで今までの実績を説明させていただきましたが、商工会もだんだん会員が少なくなってきた、入会する方もいるが、廃業であったりいろんな理由であったりでやめていく方も多くなっています。これから若い人たちが創業者として事業をやっていく、とても大切なことだと考えていますので、今後とも金融機関、行政、商工会と力を合わせてやっていきたいと思っております。</p>
石関会長	<p>ありがとうございます。ほかにご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。どうぞ。</p>
事務局	<p>総合政策部長の藤岡です。よろしくお願いします。  各委員さまのご意見を聞かせていただきまして、本日の意見のなかでやはり多様な意見を聞くことが大事だと思っております。小西委員からは若い人の意見を、中野委員からは外部の視点からの意見を、副会長におかれましても、もっと多様なチャンネルをもって意見を集めてくる方がいいのではないか、というご主旨でご意見を頂戴したものだと思っております。  われわれも市民みなさまの意見を聞くときにアンケートを取るんですけれども、紙ベースの媒体だと返ってくる世代がある一定以上の世代になってくると感じています。SNSであったり、</p>

<p>石関会長</p>	<p>西垣内がさきほど申し上げたインターネット動画であったり、シティプロモーション用の特設ホームページであったり、そういった多様なチャンネルを使いまして、若い人の意見であったり、より多様な方の意見を聞いていけるような努力をしていきたいと思っておりますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。 その他の件について、事務局何かありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>先ず、前回の協議会において、平成30年度地方創生推進交付金事業として、シティプロモーションを核とする事業を申請した旨お伝えしておりましたが、3月29日付で不採択の連絡がありましたことをご報告いたします。引き続き、地方創生につながる新たな交付金事業について検討してまいりたいと思います。</p> <p>次に、本日机上にお配りしております、総合戦略改訂スケジュール、資料4をご覧ください。今回、第1回協議会で前年度KPIの検証と素案の意見聴取を行いました。この後、市議会特別委員会において素案の審議を行う予定になっております。その後、事務局で原案を確定のうえ情報提供をさせていただきます。6月1日からパブリックコメントを実施し、その結果と案の意見聴取を行うため、次回の総合戦略協議会については、7月上旬の開催を予定しております。もしよろしければ、ご都合をお聞かせいただいて、日程を決定させていただけたらと考えております。勝手ながらこちらの方で候補日を決めさせていただいておりますが、7月6日（金）、7月9日（月）を考えておりますが、この場にいらっしゃる皆様のなかで、現時点でご都合が悪い方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
<p>高見副会長</p>	<p>商工会なんですけれども、今年度私が会長職を退任いたしますので、次の会長の日程次第になるんですが、今の段階ではちょっとわからないです。</p>
<p>事務局</p>	<p>他の委員のみなさまはいかがでしょうか。</p> <p>（意見なし）</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは7月6日（金）の午後2時からでお願いいたします。</p>

石関会長	<p>また、場所等詳細につきましては、改めて通知を送らせていただきます。</p> <p>また、委員皆様の委嘱期間につきましては、平成30年7月16日まででお願いをしているところでございます。もし、問題がなければ、皆様に再度、委嘱をさせていただきたいと考えております。高見会長におかれましては、引き続き次の方にお問い合わせできたらと考えております。もし継続がむずかしいという方がいらっしゃいましたら、後ほど、事務局までお知らせいただければと思います。</p> <p>最後に、事務連絡ですが、本日の会議録につきましては、後日、事務局から送付したうえで内容について確認いただき、指定させていただく期日までに修正点等がありましたら事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。会議録については、市ホームページへの掲載を予定しております。説明は以上でございます。</p> <p><b>3 閉 会</b></p> <p>それでは、ただいまをもちまして、平成30年度第1回四條畷市総合戦略協議会を閉会します。</p> <p>皆様ありがとうございました。</p>
------	---